

「博士課程教育リーディングプログラム」審査基準(案)

博士課程教育リーディングプログラム委員会

「博士課程教育リーディングプログラム」の審査は、この審査基準により行うものとする。

I. 審査基準

1. 類型別審査・評価部会の各部会における審査

書面により、主として国際的に卓越した教育研究実績・資源等を確認する「基礎審査」と、ヒアリングにより、主として明確な改革構想に基づく学位プログラムの構築・卓越性等を審査する「提案審査」の2段階により、採択候補プログラムを選定する。

(1) 基礎審査（第一審査）

基礎審査は、申請類型に応じ以下の要領で実施する。

①書面レビュー（複合領域型、オンリーワン型のみ）

類型別審査・評価部会におけるヒアリング対象拠点を選定する際の資料とするため、各申請プログラムの関連専門分野に応じて6名程度の書面レビューを配し、申請書類をもとに書面レビューを行う。その際、書面レビューは、審査要項「Ⅱ. 3. 審査に当たっての着目点」の「(8) 卓越した教育研究実績・資源」に着目した評価とともに、参考として「全ての要素」に着目した評価を、次表により行うとともに、コメントを付すものとする（別紙1「書面レビュー評価書」）。

なお、オールラウンド型については、書面レビューによる書面レビューを行わないことから、部会委員が事前に書面レビュー内容に準じた事前評価書（別紙2「事前評価書」）を作成した上で、これを合議審査の際の参考資料とする。

<卓越した教育研究実績・資源>

区分	評 価
	国際レベルでトップクラスであり非常に優れている。
	国際レベルで優れている。
	国際レベルとしてはやや不十分である。
	国際レベルとはいえない。

<全ての要素>（参考）

区分	評 価
	グローバルリーダー養成として非常に優れた計画である。
	グローバルリーダー養成として優れた計画である。
	グローバルリーダー養成として計画にやや不十分な点がある。
	グローバルリーダー養成として計画に問題がある。

(注) それぞれ該当する評価の「区分」欄に、✓のチェックを記入する。

②合議審査（全類型）

合議による審査は、類型別審査・評価部会の各部会において、オールラウンド型については「事前評価書」、複合領域型及びオンリーワン型については「書面レビュー評価書」の結果を参考に申請書類を確認しつつ、審議を尽くした上で、総合評価を次表により行い、ヒアリングを実施すべきプログラムを選定する。

その他、ヒアリングを実施すべきプログラムを選定するに当たって必要となる事項は、各部会が合議により定める。

区分	評 価
	ヒアリングを実施する。
	ヒアリングは実施しない。

（注）該当する評価の「区分」欄に、✓のチェックを記入する。

（2）提案審査（第二審査）

- ① 類型別審査・評価部会の各部会において、選定したヒアリングを実施すべきプログラムに対し申請書類及び「追加説明資料」をもとに、ヒアリングを行う。
- ② ヒアリングは以下により行うものとし、詳細については「ヒアリング実施要領」において別に定める。
 - 1) 学長、プログラム責任者、プログラムコーディネーター等（申請内容等について責任をもって説明できる者）に対し、ヒアリングを行う。
 - 2) ヒアリングを実施したプログラムについては、審査要項「Ⅱ. 3. 審査に当たっての着目点」の各要素に着目しつつ、次表により評価を行う。

区分	評 価
	非常に優れた計画であり、実現性・発展性が大いにある。
	優れた計画であり、実現性・発展性に期待できるところがある。
	良い計画であるが、実現性・発展性にやや難点がある。
	計画としては、再検討を要する。

（注）該当する評価の「区分」欄に、✓のチェックを記入する。

- ③ 類型別審査・評価部会の各部会は、全ヒアリング終了後、審議を尽くした上で、合議により総合評価を次表により行い、採択候補プログラムを選定し、博士課程教育リーディングプログラム委員会に報告する。

区分	評 価
	採択候補プログラムとする。
	余裕があれば、採択候補プログラムとする。
	採択候補プログラムとしない。

（注）該当する評価の「区分」欄に、✓のチェックを記入する。

2. 部会長会議における総合調整

類型別審査・評価部会の各部会が選定した採択候補プログラムについて、以下の観点から総合調整を行う必要があるときは、部会長会議において、合議により総合調整を次表により行い、その結果を博士課程教育リーディングプログラム委員会に報告する。

(観点)

○各類型（領域）間で調整すべきことがあるか。

区分	評 価
	採択候補プログラムとする。
	余裕があれば、採択候補プログラムとする。
	採択候補プログラムとしない。

(注) 該当する評価の「区分」欄に、✓のチェックを記入する。

3. 博士課程教育リーディングプログラム委員会における審査

類型別審査・評価部会が選定した採択候補プログラム又は部会長会議における総合調整の結果について、プログラム委員会において以下の観点から審議を尽くした上で、合議により採択プログラムを決定する。

(観点)

○選定された採択候補プログラムが、本事業の趣旨、目的等に照らして適当なものであるか。

○各類型（領域）間で調整すべきことがあるか。

区分	評 価
	採択する。
	採択しない。

(注) 該当する評価の「区分」欄に、✓のチェックを記入する。

「博士課程教育リーディングプログラム」書面レビュー評価書

○ 評価書作成者

所属機関	
部 局	
役 職	
氏 名	

○ 評価対象プログラム

[類型 :]

機関名	
プログラム名	
専攻等名	
プログラムコーディネーター名	

[卓越した教育研究実績・資源]

○ コメント

* 以下の項目について記入してください。

・ 国際レベルで非常に優れているもしくは優れていると判断される点
・ 国際レベルとしてはやや不十分もしくは国際レベルといえないと判断される点
・ その他

○ 総合評価（国際レベルとして）

4. 非常に優れている 3. 優れている 2. やや不十分である 1. 問題がある

〔全ての要素〕（参考）

○コメント

* 以下の項目について記入してください。

・グローバルリーダー養成の計画として非常に優れているもしくは優れていると判断される点
・グローバルリーダー養成の計画としてはやや不十分もしくは問題があると判断される点
・その他

○総合評価（グローバルリーダー養成の計画として）

4. 非常に優れている 3. 優れている 2. やや不十分である 1. 問題がある

〔申請経費の合理性等〕

2. 事業の目的・計画に照らして妥当である。

1. 事業の目的・計画に照らして整合性を欠いている

・上記「1.」と判断した場合は、その根拠・理由等を記入してください。

〔その他（ヒアリングにおいて説明を求めべき事項があれば記入してください）〕

--

「博士課程教育リーディングプログラム」事前評価書

○ 評価書作成者

所属機関	
部 局	
役 職	
氏 名	

○ 評価対象プログラム

機関名	
プログラム名	
専攻等名	
プログラムコーディネーター名	

〔卓越した教育研究実績・資源〕

○コメント

* 以下の項目について記入してください。

・国際レベルで非常に優れているもしくは優れていると判断される点
・国際レベルとしてはやや不十分もしくは国際レベルとはいえないと判断される点
・その他

○総合評価（国際レベルとして）

4. 非常に優れている 3. 優れている 2. やや不十分である 1. 問題がある

〔全ての要素〕（参考）

○コメント

* 以下の項目について記入してください。

・グローバルリーダー養成の計画として非常に優れているもしくは優れていると判断される点
・グローバルリーダー養成の計画としてはやや不十分もしくは問題があると判断される点
・その他

○総合評価（グローバルリーダー養成の計画として）

4. 非常に優れている 3. 優れている 2. やや不十分である 1. 問題がある

〔申請経費の合理性等〕

2. 事業の目的・計画に照らして妥当である。
1. 事業の目的・計画に照らして整合性を欠いている

・上記「1.」と判断した場合は、その根拠・理由等を記入してください。

〔その他（ヒアリングにおいて説明を求めるべき事項があれば記入してください）〕

--